

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 橋梁長寿命化計画策定事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路の改善・適正な維持管理
事務事業番号	018	事務事業コード 43113018 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 4 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	橋梁長寿命化計画策定事業
------	------	------------	--------------

部 名	都市整備部	グループ名	土木 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 通行者の安全性を確保するうえで、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト縮減を図る。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffff00;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 全体計画橋梁数 N = 1 0 0 橋 平成 2 2 年度 橋梁点検 2 9 橋 (平成 2 3 年度 橋梁点検 7 1 橋) (平成 2 4 年度 計画策定 1 0 0 橋)
成果	<p style="background-color: #ffff00;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 通行者の安全性を確保するため、橋梁の健全度を把握し、長寿命化によるコスト縮減に向けた点検実施を行った。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 道路法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	橋梁点検	橋	目標値	29	71			
			実績値	29	/	/	/	/
	計画策定	橋	目標値			100		
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度	
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	社会資本整備総合交付金	千円	865	3,500	3,850			3,850
	道支出金 名称		千円						0
	地方債 名称		千円						0
	その他 名称		千円						0
	一般財源 名称		千円	962	3,800	5,550	1,300		6,850
合 計				1,827	7,300	9,400	1,300	0	10,700
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	3,668	4,826				
		嘱 託 員	千円	0	0				
		臨時職員	千円	0	0				
		合 計		3,668	4,826				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市道に架かっている橋梁の改修、維持補修に向けた修繕計画策定であり、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 修繕計画策定に向けて橋梁健全度の把握ができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応により、橋梁の長寿命化によるコスト縮減が図られる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 当該事業は、橋梁の長寿命化を目的とした事業であることと、点検項目などについてはコスト削減の要素がない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は橋梁の長寿命化を目的とし、点検・計画策定を実施するものであり、将来の改修工事費、維持補修費にかかる事業費のコスト縮減を目指していることから、本事業が完了して目的を達成するものである。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）